スポーツ庁
JAPAN SPORTS AGENCY

令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

愛知県 大治町

自 治 体 名 ： 愛知県 大治町
担 当 課 名 ： 教育委員会スポーツ課
電 話 番 号 ： 052-443-7077

1.自治体の基本情報

スポーツ庁

基本情報（令和7年2月時点）

面積	総面積6.59 ㎢
人口	33,606 人
公立中学校数	1 校
公立中学校生徒数	996人
部活動数	17 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定済

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

現在、当町の大治中学校は、17の運動部活動が活動している。

現在、本町は人口減少はなく、どの部活動も部員数が多く、限られた施設や時間の中での活動に苦慮している。

改革推進期間である３年間で、生徒、保護者、教職員のニーズに合わせた活動を第一に進め、同時にモチベーションの下がらない教職員の働き方改革の推進も目標とし、地域展開を進める。

また、長年にわたって部活動は、学校教育の一環で運営するものという考えが生徒、保護者、地域に根付いている。地域展開を進めるに当たり、地域展開によってニーズに合った活動ができること、ただし受益者負担が必要になってくることを保護者や関係者が認識することが必要であり、家庭の事情で参加できない生徒が出ないようにすることや、信頼できる指導者の掘り起こし、確保も同時に進めていかなければならない。

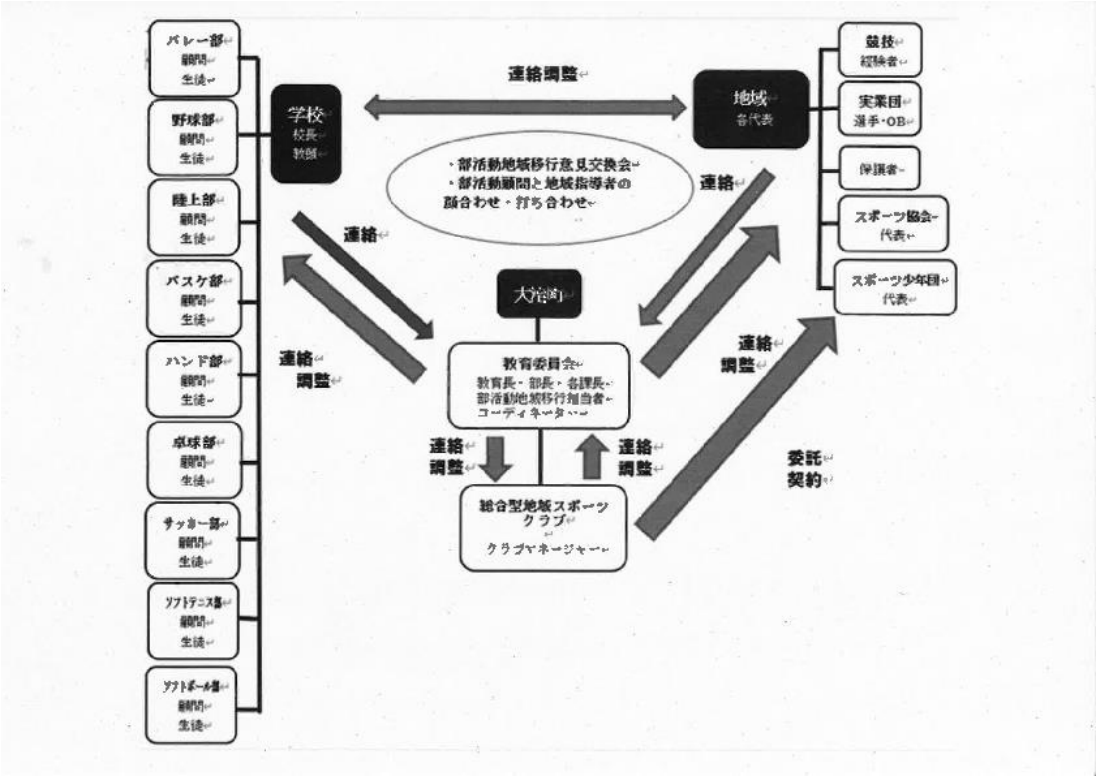
部活動名	男子				女子				合計（人）
	1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	計	
1 野球	7	7	11	25					25
2 水泳	3	12	10	25	7	3	5	15	40
3 ハンドボール	19	18	13	50	15	12	8	35	85
4 バスケット	9	15	16	40	10	10	4	24	64
5 バレーボール	19	7	19	45	15	11	6	32	77
6 サッカー	16	16	19	51	0	0	0	0	51
7 ソフトテニス	7	10	10	27	12	9	7	28	55
8 卓球	5	7	9	21	13	14	5	32	53
9 ソフトボール					9	6	6	21	21
10 柔道	5	2	7	14	2	3	1	6	20
11 剣道	1	6	2	9	3	1	4	8	17
12 陸上	17	15	13	45	18	11	7	36	81

R6 大治中学校部活動参加生徒数

2.実証内容と成果

スポーツ庁

運営体制・役割



●行政組織内での役割分担

◉教育委員会

・スポーツ課…部活動改革の主幹、学校や地域クラブとの調整・連携、総合型地域クラブとの連携
・学校教育課・社会教育課…中学生の地域スポーツ・文化活動の環境整備

年間の事業スケジュール

令和6年４月	中学校PTA総会で保護者へ部活動地域連携について説明
令和6年５月	地域クラブ活動（野球・バスケットボール・バレーボール・陸上）開始
令和6年６月	第３回大治町部活動意見交換会実施
令和6年７月	中学校教職員へ説明とアンケート実施
令和6年９月	小中学生と保護者へニーズ調査アンケート実施（対象：小5～中２）
令和6年11月	中学校入学説明会で保護者へ部活動地域連携について説明 第４回大治町部活動意見交換会実施 地域指導者面談開始
令和6年12月	中教職員へ地域連携希望調査アンケート実施・顧問面談開始
令和7年２月	第５回大治町部活動意見交換会実施
令和7年３月	近隣市町村で部活動地域移行情報交換会を開催

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	1 校	実施した地域クラブ総数	6 クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		6 クラブ（6部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		0クラブ
全体の指導者数	21 人	全体の運営スタッフ数	3 人 （6クラブ兼務）

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者（学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数（他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
野球クラブ	A	野球	月 1 回	9時～12時	3年10人 2年5人 1年7人	R6.5.11 ～ R7.2.22	大治町営野球場	6 人	3 人（内、兼務3人）	0円	なし
バレーボールクラブ	A	バレーボール	月 1 回	13時～16時	3年24人 2年18人 1年32人	R6.5.19 ～ R7.2.9	大治中学校体育館	7 人	3 人（内、兼務3人）	0円	なし
陸上クラブ	A	陸上	月 1 回	9時～12時	2年15人 1年27人	R6.9.28 ～ R7.2.22	大治中学校運動場	2人	3 人（内、兼務3人）	0円	なし
バスケットボールクラブ	A	バスケットボール	月 1 回	9時～12時	3年9人 2年23人 1年19人	R6.5.18 ～ R7.2.15	大治中学校体育館	6 人	3 人（内、兼務3人）	0円	なし

③その他、体験会やイベント等の開催実績

な し

2.実証内容と成果

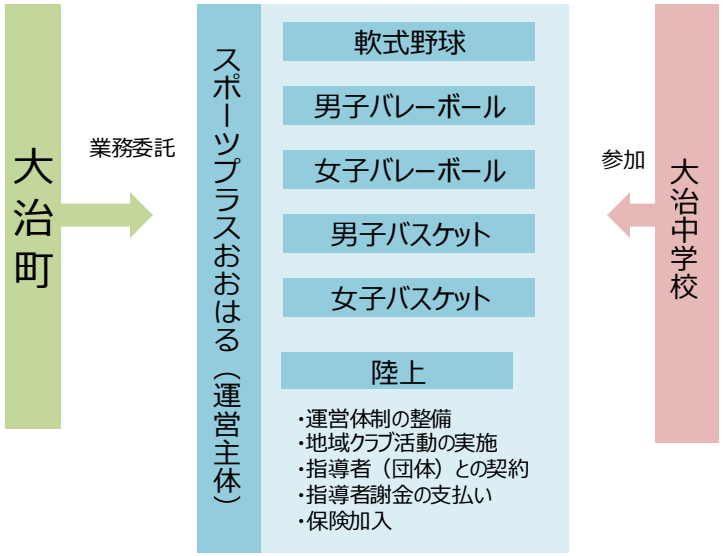
スポーツ庁

主な取組例

●スポーツプラスおおはる　活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	男子バスケット、女子バスケット、 軟式野球、陸上、 男子バレーボール、女子バレーボール
運営団体名	総合型地域スポーツクラブ スポーツプラスおおはる
期間と日数	5月11日 ～ 2月22日 月4～5回程度
指導者の主な属性	実業団
活動場所	大治中学校、大治町営野球場
主な移動手段	自転車
１人あたりの参加会費等（年額）	0円
１人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒１人あたり：800円/年 指導者１人あたり：1,850円/年

●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

●統括責任者（部活動地域移行推進コーディネーター）

役割：活動における管理者として、学校、保護者、指導者との連携を行う

●主任指導者　各クラブ1 名

役割：活動における主任者として、生徒への指導と日程等の連絡調整を行う

●運営補助者（部活動地域移行推進コーディネーター、行政担当者）

役割：施設の開錠・施錠、参加者、指導者の出欠確認、緊急時の連絡

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

○広域的な活動を行うコーディネーターを１名配置し、関係団体・市区町村との連絡調整・指導助言等を行った。

○運営団体・実施主体の運営体制の整備や人材の確保など、持続可能な運営ができる組織体制の整備を行った。

○参加者管理、参加者・指導者への連絡、日程、会場の調整等にICT活用のための整備を行った。

○施設や練習日調整のため学校管理職と密に連絡をとった。

取組の成果

○コーディネーターを配置したことにより、関係団体との連絡調整・会議運営等を円滑に行うことができた。

・運営主体であるスポーツプラスおおはるとの打ち合わせ・・・月１回

・指導団体との打ち合わせ・・・随時

○地域スポーツ・文化団体、PTA、学校運営協力団体との効果的な連携を図り、運営団体・実施主体と中学校の連絡調整等を行うことができた。

・部活動地域連携関係者による意見交換会・・・年3回

・学校管理職との打ち合わせ・・・随時

・部活動顧問と面談・・・年2回以上

○日程調整、指導者や顧問との連絡、参加者への緊急時の連絡について途中から連絡アプリを導入したことにより、天候不順による練習中止連絡がスムーズに行うことができた。

○小学校の管理職とも連携したことにより、中学にあがる前から町の部活動地域連携について、児童や保護者へ情報を伝えることができ、入学してからの大きな混乱がなかった。

コーディネーターの具体的な動きの実績

【コーディネーター】

・毎月、各クラブを巡回し、課題等のヒアリング・助言等を実施

・町意見交換会を実施し、関係団体との連携に努めた。

・学校、参加者、指導者への連絡調整を実施

今後の課題と対応方針

●学校、地域指導者、関係団体等との連携は不可欠であるが、現在は、一人のコーディネーターと行政担当者二人で対応している。今後、指導者以外の運営補助員の配置と、コーディネート業務を担う人材の発掘・育成、資質向上を図る方策の検討が必要 。

2.実証内容と成果

スポーツ庁

●取組項目名　イ：指導者の質の保障・量の確保①

取組事項

・令和６年１月からスポーツ課主催のスポーツ教室指導団体を訪問と保護者アンケートを実施し、指導者の確保に努めた。
・現在の指導者は、実業団やプロなので、毎月巡回して活動を確認し、生徒・中学校顧問より聞き取りを行い、適切な指導の確認を行った。

スポーツ教室指導者数

10団体

応募者・紹介者数

職業
・会社員　19人
・自営業　４人
応募のきっかけ
・アンケート　52.2%
・知人の紹介　43.5%
・窓口　4.3%

種目

軟式野球
バレーボール
バスケットボール
ハンドボール3団体
陸上
卓球
新体操
空手
柔道
剣道

資格有無

・JAAPジュニア陸上公認コーチ
・バスケットボール審判E級・コーチE級
・教員免許（保体）

クラブ名	指導者　（きっかけ）
❶野　球	町スポーツ教室指導者　保護者アンケート
❷バレー	町スポーツ教室指導者　保護者アンケート
❸陸　上	町スポーツ教室指導者　保護者アンケート
❹バスケ	町スポーツ教室指導者　保護者アンケート
❺卓　球	町スポーツ協会　紹介
❻ハンド	紹介　保護者アンケート
❼サッカー	町スポーツ教室指導者
❽ソフト	保護者
❾テニス	保護者
❿柔　道	スポーツ少年団
⓫剣　道	スポーツ少年団
⓬新体操	保護者アンケート
⓭ダンス	保護者アンケート
⓮空手	保護者アンケート

地域クラブ指導者就任のきっかけ

取組の成果

・地域連携を希望する部活動について、地域クラブ指導者として7団体と４人を確保できた。
・毎月１回、指導者と打合せを行い、指導内容の確認と指導の質向上につなげた。
・地域指導者と部活動顧問のスムーズな連携のため2か月に１回程度連絡をとり、情報共有・意見の聞き取りを行ない、必要な対策を講じることで生徒の混乱を防ぐことができた。
・生徒や保護者だけでなく、部活動顧問が信頼する指導者確保のため、企業訪問や顧問、指導者からの聞き取りや説明を行うことで、中学校のほとんどのスポーツ部活動で令和7年度の地域クラブ活動を実施することになった。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　イ：指導者の質の保障・量の確保②

指導者研修の内容

・令和6年度は、指導者が実業団・プロのため、毎回の見回りや聞き取りを実施して研修は実施せず

指導者研修の参加実績

・実施せず

参加生徒から指導に対する声

【聞き取りによる声】
・「わかりやすい」・・・9割以上
・「やさしい」「丁寧な指導」・・・9割以上
・「その他」・・・「わからないことはすぐ教えてくれる」
「指導者がやって見せてくれるからよくわかる」

今後の課題と対応方針

○今年度は、すべてがプロのスポーツ指導者だったので、技術研修は行わなかった。来年度からは、地域クラブ指導者に対して、技術指導だけでなくコンプライアンス研修も含め行う必要がある。今後、どの水準まで質を求めるかについては検討する。
○平日と休日の指導者間の効率的・効果的な連携方策について、ICT機器を活用していく。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

○学校や地域がスムーズに連携して進めていくため、町内小中学校長や小中学校PTA会長、町内スポーツ協会、スポーツ推進員等が参加する意見交換会を令和6年度は3回実施し、本町の取組及び今後の見通し等を説明し、意見を聞いてよりよい地域連携につなげていった。

取組の成果

○本町意見交換会を実施し、学校や地域団体の協力を求めることで、町内中学校の生徒や保護者に事前周知や募集チラシの配布を行うだけでなく、教職員や新入生保護者会で活動の周知をする機会を得た。

○地域のスポーツ団体の理解を得て、指導者確保がスムーズにできた。

○地域クラブが活動するときは、指導者が競技種目の指導のみに集中できるよう、会場の施錠、開場や参加者の出欠確認などを行う運営補助員の配置が必須であり、クラブ活動を巡回することで、どのようなことを依頼するか確認することができた。

番	役　職	番	役　職
1	教育長	16	大治南小学校長
2	教育部長	17	大治西小学校長
3	大治中学校ＰＴＡ会長	18	スポーツプラスおおはる クラブマネージャー
4	大治小学校ＰＴＡ役員	19	スポーツプラスおおはる クラブマネージャー
5	大治南小学校ＰＴＡ会長	20	子ども応援本部長
6	大治西小学校ＰＴＡ会長	21	学校教育課長
7	スポーツ少年団本部長	22	学校教育課主幹
8	スポーツ協会会長	23	学校教育課係長
9	文化協会会長	24	社会教育課長
10	スポーツ推進委員会長	25	社会教育課主幹
11	スポーツ推進委員会副会長	26	社会教育課主事
12	社会教育委員代表	27	スポーツ課長
13	大治中学校長	28	スポーツ課係長
14	大治中学校　体育主任	28	部活動地域移行支援 コーディネーター
15	大治小学校長	29	スポーツ課主任

町意見交換会出席者

意見交換会の実施

・日時　6/20　11/21　2/4
・参加者役職
　教育長、小中学校長、部活動担当教員、PTA会長、スポーツ協会会長、スポーツ推進委員会長、文化協会会長、社会教育委員、行政担当者、総合型スポーツｸﾗﾌﾞﾏﾈｰｼﾞｬｰ

協議内容

・指導者の質と量の確保
・部活動と地域クラブ活動のスムーズな連携
・実施回数
・受益者負担
・運営事務局の整備

今後の課題と対応方針

○競技団体や総合型地域スポーツクラブ、民間事業者等の多様な団体に参画してもらう必要があるため、更なる連携強化を図る。

○運営業務の効率化を図るため、アプリやシステムの活用を検討する。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　エ：面的・広域的な取組

取組事項

○海部地区は7市町村で教職員の人事異動があるため、海部地区の部活動地域移行担当者やコーディネーターと情報交換を行い、教職員が移動しても混乱しないように情報交換会を実施し連携強化を図った。

各自治体の取組状況

○大治町教育委員会
・R5.4月 コーディネーター配置
・R8.4月 土日の部活動を地域クラブへ移行の予定
○弥富市教育委員会
・R6.4月 コーディネーター配置
・R9.9月 土日の部活動を地域クラブへ移行の予定
○あま市・愛西市教育委員会
・R7.4月 コーディネーター配置
・R9.9月 土日の部活動を地域クラブへ移行の予定
○蟹江町教育委員会
・R7.1月 コーディネーター配置
・R9.9月 土日の部活動を地域クラブへ移行の予定
○飛島村教育委員会
・R6.4月　業者委託で土日の地域クラブを実施
○津島市教育委員会
・R9.9月 土日の部活動を地域クラブへ移行の予定

取組の成果

○7市町村で情報交換を行った結果、各自治体の指導者確保や施設の有効活用、今後の方向性がわかり、本町の地域クラブ活動の目指す姿が明確になった。

今後の課題と対応方針

○今後、市町村の枠を超えて7市町村で地域クラブを実施し、生徒や地域指導者が参加したい地域クラブで活動できるような環境づくりのため、7市町村でさらなる連携強化をしていく。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　オ：内容の充実①

取組事項

○令和６年度は、地域クラブ活動が月1回の土日実施で、他の土日は学校部活動を行っており、生徒が混乱しないように学校部活動と地域クラブ活動の連携が大変重要である。部活動顧問、地域クラブ活動指導者、参加生徒の声を巡回して聞き取り、対策が必要なときは、担当者や運営主体のスポーツプラスおおはると検討会を行った。

○部活動と地域クラブ活動の参加に混乱が生じないように小学生のうちから地域クラブ活動に近い体験（スポーツチャレンジ）ができるプログラム構築した。

活動の詳細

参加人数	地域クラブ　中学生186人 スポーツチャレンジ　小学生303人
指導者数	地域クラブ　　18人 スポーツチャレンジ　８ 人
具体的な内容	・地域クラブ・・・各種目の基礎基本練習、スキルアップ、ゲーム、記録測定 ・スポーツチャレンジ・・・発達段階に合わせたコーディネーショントレーニング、バドミントン、卓球、フットサル、バレーボール、バスケットボール、ハンドボール、ドッジボール、野球、クロスミントン等体験
子どもの声	・地域クラブ・・・レベルの高い練習方法を教えてもらってスキルアップにつながった。 指導者の教え方がわかりやすくてよく理解できた。 指導者が多くいるので、1年生までしっかり教えてもらうことができた。 ・スポーツチャレンジ・・・学校外でボールを使って遊ぶ場がないのですごく楽しかった。 いろいろなスポーツが体験できて楽しかった。また参加したい。
関係者の声	・顧問・・・プロの方が指導して下さり、顧問も勉強になった。生徒が楽しいと言って参加している。 ・指導者・・・顧問が信頼して下さってやりやすい。もっとチーム練習も教えてあげたい。
工夫した点	・学校部活動が主で、月１回の活動である地域クラブはスキルアップと役割を決めた。 ・コーディネーターが毎回巡回し、指導者、生徒の声を聴いて対策を行った。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　オ：内容の充実②

取組の成果　○「部活動地域連携希望調査」を実施し、生徒や保護者、教職員のニーズ把握に努めた。

大治町　部活動地域連携 希望調査アンケート　（教職員　40人）		
A	土日すべてを大治中の教職員ではない地域の指導者が指導	50 %
B	月1回土日を地域指導者が指導し、他の土日を兼職兼業で教職員が指導	15 %
C	土日すべてを兼職兼業で教職員が指導	30 %
D	他の方法（具体的にお書きください）	5%
○AかCがよいです。大会や練習試合、定期テスト期間中の部活動禁止期間などを外して、月1回の地域連携の日を決めるのは極めて難しいし、地域指導者の予定もあるのでさらに厳しいです。しかし、すべての土日を地域指導者にお願いした場合、他校との練習試合をどう組んでいくのか、大会をどう運営していくのかの道筋がみえません。地域移行は簡単ではないと肌で感じました。		
○CとBの折衷案で報酬を調整した上で教員の参加や外部の機関へ委託して協力して行う方法。		

大治町　部活動地域連携アンケート　（保護者 448人）	
1　土日にお子さんを地域スポーツ・文化活動に参加させる場合、望むことは何ですか。（複数回答）	
(1) 仲間をつくったり、楽しんだりすることができる活動	77.5%
(2) 趣味や興味を広げられるような活動	64.8%
(3) 心と体の健康、根気、体力の向上	64.8%
(4) 本格的な技能上達に向けた活動	35.0%
(5) 大会やコンクール等への参加	25.5%
(6) その他：成果が出せる場があること、部活動の延長として地域クラブ活動があること、差別されないこと、保護者の同行を求めないこと、相談できる大人を増やすこと 等	3.2%
2　地域クラブ活動を指導したり見守ったりすることや指導者を紹介することはできますか。	
(1) 指導・見守りは厳しい。	96.1%
(2) 指導はできないが見守りなら参加できる。	3.0%
(3) 条件（報酬、時間、本務との調整等）が合えば指導できる。	2.0%
(4) 指導できる方を紹介できる。	0.7%
3　地域でのスポーツ・文化活動を行う費用について共用できる月額はいくらですか？	
(1) 3,000円	32.7%
(2) 2,000円	25.7%
(3) 1,000円	19.8%
(4) 5,000円	10.7%
(5) 費用がかかるなら参加しない。	9.8%
(6) その他：500円、 1,000円以内、 内容次第、 必要な分	3.4%

今後の課題と対応方針

○教職員は地域連携を望む声が多かったが、練習内容の情報共有、練習試合等による急な日程変更、指導者との連携にとられる時間等、不安も多く聞かれた。連絡アプリを取り入れることで不安解消につなげる。

○保護者、生徒へのアンケートから活動目的に幅があることがわかった。ニーズに合わせた活動が選択できるように地域で行われている活動一覧を作成し選択しやすいようにする。

○受益者負担については、いろいろな立場の方からも意見を聞き、検討していく。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　キ：学校施設の活用等

取組事項

○今後、保護者等に負担が見込まれる受益者負担を低廉な額とすることや、生徒の安全を確保するため、学校体育施設を中心に実証事業の活動を実施するよう調整を行なった。

○大治中学校を訪問し、事業への協力及び施設の利用について調整を行った。

取組の成果

○大治中学校を訪問し、地域クラブ活動への理解を高めることで、総合型地域スポーツクラブと学校のつながりを深め、全35回の活動すべてにおいて、学校部活動が普段使用している学校体育施設や町の施設を利用して活動することができた。

部活動名	野球部		陸上部		男女バレー部		男女バスケ部	
場所	町営野球場		大治中運動場		大治中体育館		大治中体育館	
時間	8:30集合 9:00～12:00		8:30集合 9:00～12:00		前半 14:00～15:30 後半 15:30～17:00		8:30集合 9:00～12:00	
実施回数	5～2月	10回	5～2月	6回	5～2月	10回	5～2月	9回

実証事業クラブ　活動場所・時間・回数

今後の課題と対応方針

○屋外部活動は、雨天時に校舎内でミーティング等を行っているが、現在、地域クラブ活動は、天候が悪い場合、中止か日程変更で対応している。今後は、文化部の活動もあるので、学校教育課担当者と校舎内のセキュリティ対策を行い、校舎内の活用を検討していく。

○今後、地域のスポーツ団体やスポーツ少年団の施設利用の依頼もあるため、学校体育施設の利用調整に係る業務を総合型地域スポーツクラブで行う方向で進める。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　ク：その他の取組　小学生と保護者の意識改革

取組事項

○中学校の部活動は教員が顧問となり進めていたため、中学生は部活動を身近に感じて入部していたが、地域クラブ活動へ移行すると学校外の活動となり、入会者が減少すると考えられる。そこで、地域クラブ活動に近いスポーツ体験の場として、小学生の時期から発達段階に合わせたスポーツ活動を無理なく楽しみながら行うことができるプログラム（スポーツチャレンジ）を構築した。

取組の成果

○小学生授業後スポーツチャレンジ

・コーディネーショントレーニングとドッジボールを中心に行った。参加した児童や保護者からボールを使って遊ぶ場がないので今後も続けてほしいとの声が多数上がった。

対象	申込	曜日	時間帯 / 会場	月/日 5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
大治小低学年	19人	第2火	16:00～17:30 大治小体育館	14日 16人	11日 17人	9日 15人	4日 15人	10日 16人	8日 15人	19日 17人	10日 15人	21日 16人	18日 15人
大治小高学年	17人	第4火	16:00～17:30 大治小体育館	28日 15人	25日 16人	2日 17人	4日 14人	3日 16人	22日 17人	26日 16人	17日 15人	28日 17人	4日 15人
南小低学年	20人	第3木	16:00～17:30 南小体育館	9日 20人	27日 19人	4日 19人	4日 17人	19日 19人	24日 19人	21日 19人	19日 20人	16日 19人	27日 19人
南小高学年	8人	第3月	16:00～17:30 南小体育館	20日 7人	17日 8人	1日 8人	4日 8人	30日 8人	21日 8人	18日 7人	16日 6人	20日 8人	3日 8人
西小低学年	20人	第1火	16:00～17:30 西小体育館	21日 20人	4日 18人	2日 19人	4日 17人	10日 18人	1日 19人	19日 17人	3日 18人	28日 15人	4日 18人
西小高学年	20人	第2月	16:00～17:30 西小体育館	13日 18人	10日 19人	8日 20人	4日 16人	9日 17人	7日 14人	11日 17人	2日 17人	27日 14人	18日 19人

○夏休みスポーツチャレンジ

【申込者総数99人】【3年:30人 4年:20人 5年:27人 6年:22人】

【大治小 20人　3年:5人 4年:11人 5年:3人 6年:1人】
【南　小 34人　3年:12人 4年:5人 5年:8人 6年:9人】
【西　小 45人　3年:13人 4年:4人 5年:16人 6年:12人】

【ボランティア数 50人】【大治中:47人 1年:13人 2年:12人 3年:22人】【一 般:3人】

日時	種目	参加者数 児童	ボラ
7/30(火) 13:00～16:00	バドミントン・卓球・フットサル・野球	99人	37人
8/20(火) 13:00～16:00	バドミントン・卓球・ハンドボール・バスケットボール	83人	17人
8/27(火) 13:00～16:00	バドミントン・フットサル・ソフトバレーボール・ドッジボール	87人	24人
8/6(火) 13:00～16:00	授業後スポチャレドッジボール大会（+卓球・バドミントン）	87人	22人

備考欄

- 昨年度の反省から、充実してできる80人を定員としたが、申し込み初日に80人を超えたので100人まで受けつけた。
- 毎回、4グループに分かれて、30分ずつローテーションで4種目を体験、最後は30分フリータイムとした。
- 体験種目は、バドミントン（3回）卓球（2回）フットサル（2回）ハンドボール（1回）野球（1回）バスケットボール（1回）ソフトバレーボール（1回） ドッジボール（1回）の計8種目
- 昨年度は、水分がなくなったという児童が多数出た。今年度は「200円程度持ってきて自販機の利用をしてもよい」と伝えてあったので、水分の問題はなかった。
- 3日間だけであったがどの種目もうまくなった。



・3～6年生を対象に、3時間を3回、スポーツセンターで8種目のスポーツ体験を行った。申し込み初日で100人の定員を上回り、参加した児童からは「やったことがないスポーツばかりだったけど楽しかった」という声が聞かれた。

今後の課題と対応方針

○中学生の地域クラブ活動と連携した取り組みになるよう、中学生はボランティアとして参加し、地域クラブ指導者も参加して地域クラブ活動が身近に感じられるようにしていく。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　イ：指導者の質の保障・量の確保　／　ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項（イ）

・町で開催しているスポーツ教室や小学生のスポーツ体験で、参加者やその保護者から好評を得ている指導者に指導を依頼

・上記の指導者から紹介された方に短期の教室を依頼し、実績を見て指導者として依頼

・保護者アンケートを実施し、指導者や運営補助員を募集

取組の成果（イ）

・令和7年度については、顧問も納得した指導者を確保することができた。

番	部活動名	R7	連携先（候補）
1	野球	○	実業団
2	陸上	○	実業団
3	バスケットボール（男）	○	実業団
4	バスケットボール（女）	○	実業団
5	バレーボール（男）	○	実業団
6	バレーボール（女）	○	実業団
7	ハンドボール（男）	○	大治町ハンドボール教室　講師
8	ハンドボール（女）	○	大学女子ハンドボール部
9	卓球（男）	○	大治町ジュニア卓球クラブ
10	卓球（女）	○	
11	サッカー	○	町小学生スポーツ教室　講師
12	吹奏楽	○	町ジュニアバンド元指導者
13	ソフトテニス（男）	○	保護者
14	ソフトテニス（女）	○	
15	ソフトボール	○	保護者

取組事項（ウ）

・スポーツ協会理事会にてチラシを配布し、部活動地域連携の理解と指導できる団体、指導者を依頼



取組の成果（ウ）

・スポーツ協会に所属する団体より地域連携で中学生の指導の受け入れができるとの連絡が複数あった。

今後の課題と対応方針

・現在は、指導経験が豊富な方がほとんどで、参加した生徒や教室で指導を受けている児童・保護者からも信頼が厚い。今後、一般の指導者も受け入れていく予定であるので、プロの指導者と一緒に指導したり、指導研修をしていただく機会を設けたりして、質の確保に努める。

2.実証内容と成果①

スポーツ庁

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

○令和6年度は6部活動で実証事業として地域連携を行った。スポーツ教室を指導している実業団に指導を依頼でき、生徒、保護者、顧問、学校管理職からも大変好評であった。

○運営主体を総合型地域スポーツクラブで行ったので、現在の規約で当てはまらないこともあったが、令和6年度は県の事業として実施できたため、大きな問題はなかった。

○現在、中学生はほぼ部活動に入部しており、地域クラブ活動も参加費無料で多くの生徒が参加していた。実業団による指導を受けられることもあり、参加者や保護者からも好評だった。

○大治町は１つの中学校しかないため、学校としっかり連携して実施することができ、大きな混乱はなかった。

○おもにコーディネーターと行政担当者と3人で連絡調整を行ってきたが、令和7年度から実施する部活動も増えるため、システムの導入などの整備が必要である。

○指導者の質を確保するためにも良い指導者がいるうちに、後継者を育てていく必要がある。

●成果の評価

○参加生徒、指導者、顧問の聞き取り面談より、9割を超える「よかった」の声があった。これは、指導者の質が高かったこと、しっかり意見を聞いて対策し安心できたことが要因としてあげられる。今後も指導者の質の確保、関係者との打ち合わせ、聞き取りを大切にしていくことが重要である。

○令和6年度は、加入率が部活動参加者の8割を超えていた。学校の管理職や教職員の協力が大きかった。今後も学校との連携を密にして、情報共有ができる関係を築いていく。

●今後に向けて

○地域クラブ活動の欠席連絡が部活動と混乱してうまく確認できなかったことがあった。また、今後は会費の徴収、管理も必要となるので、連絡アプリやシステム導入で会員、会費の管理や連絡の漏れをなくしていくことが必要である。

○信頼おける指導者を確保するためには、財源の確保が必要である。受益者負担は行っても、運営主体であるスポーツプラスおおはるが自立していくためには、地元企業の協力もお願いしていく必要がある。企業にとっても地域クラブ参加者にとってもWin-Winの関係になる方法を検討していく。

2.実証内容と成果②

スポーツ庁

アンケート結果・参加者の声

●参加者の声

中学3年生
指導がわかりやすくて、できなかったことができるようになった。

中学３年生
引退でできなくなるのが残念。もっと参加したかった。

中学２年生
試合でうまくいかなかったところを教えてもらうことができてすごくうれしかった。

中学２年生
部活の先生と言っていることが違わないので、迷わずに安心して練習に参加できた。

中学１年生
先生がたくさんいるので、1年生もしっかり教えてもらうことができてうれしい。すごく楽しい。

中学１年生
人数が多く、場所が狭いので、もう少し長い時間やれるといい。来年もぜひ続けたい。

指導者
施設、道具を気持ちよく使わせていただき、報酬も配慮していただくなど、運営団体の配慮にとても感謝している。

指導者
月1回なので、スキルアップに徹して行っているが、できればチーム練習も教えてあげられるよう顧問と連携していきたい。

部活動顧問
生徒がとても楽しいと言っている。今までできなかったことが知らない間にできるようになってきている。プロに指導していただけてとてもありがたい。

部活動顧問
自分もときどき見学させていただいているが、とても勉強になる。練習内容の情報共有ができるとさらに効果があがる。

保護者
部活動は技術指導だけでなく、いろいろな面で指導し支援していただけるのでありがたい。地域指導者でもこのような指導をしていただけるならとても安心できる。

2.実証内容と成果④

スポーツ庁

参考資料（活動写真）



【体幹トレーニング】



【技術指導の様子】



【指導の様子】

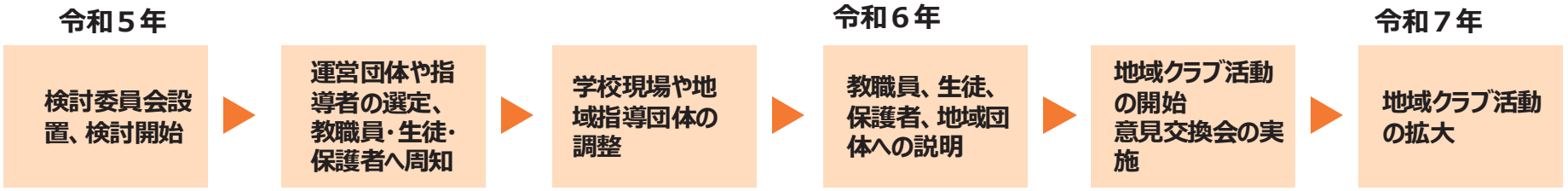


【小学生スポーツ体験の実施】

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス



ステークホルダー

学校、地域スポーツ団体、スポーツ協会、町長部局、町教委、総合型地域スポーツクラブマネージャー、コーディネーター

経過

令和5年度より検討委員会を設置し、総合型地域スポーツクラブ「スポーツプラスおおはる」が運営主体として活動できるよう、令和8年度までに構築する推進計画を策定した。同時に、スポーツ教室の指導者に声をかけ指導者確保を行った。運営団体とコーディネーター、学校関係者、指導者、行政等で意見交換会を実施し、学校と地域クラブ活動のよりよい連携のための課題や対策を協議していった。参加生徒や部活動顧問が不安を抱かないよう、定期的に面談したり、アンケートを実施したりした。

実施内容

令和6年５月から、６部活動において月１回の休日の部活動を地域クラブ活動へ移行する試験的な取組を開始した。令和7年度に向け、他の種目の指導者候補による短期のスポーツ教室を行った。

実施にあたって生じた課題

日程変更・調整や活動内容の地域指導者と部活動顧問の情報共有、鍵の貸出や出欠確認や緊急時の連絡を誰が行うか等の課題があがった。途中から連絡アプリを導入したが、徹底できずコーディネーターと行政担当者が一つずつ対応した。今後は、会費徴収もあるためシステムの導入と運営補助員の雇用を運営主体であるスポーツプラスおおはると検討していく。

現在、実業団・プロ指導者を依頼しており、生徒、保護者、顧問から大変好評であるが、今後、受益者負担になった場合、報酬額と参加費が見合わなくなることが予想される。一般の指導者確保と企業協賛を検討していく。

今後の展開

令和８年度からは、休日の地域クラブ活動を毎週実施する予定で進めている。また、持続可能な地域クラブ運営とするために、受益者の会費負担と地元企業の協賛を得るため、スポンサー名入りTシャツの作成を検討する。

3.今後の方向性

スポーツ庁

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

【 大治町の目指す姿 】

大治町部活動地域連携について　【目指す姿】　R7.2.27

① 地域展開のメリット…生徒も先生もニーズに合わせて選択できる

A 大会で上位入賞　　B 大会参加　　C 楽しくｏｒ様々な活動　　D フリー

② R8は土日すべてを地域クラブへ移行し、指導を希望する教員は兼職兼業で行うことができる

③ 保護者費用は目的に合わせて　　A クラブチームの規程　　B 2,000円/月+1,500円/年　　C 地域団体の規程

【 ロードマップ 】

	R 5	R 6	R 7	R 8
取り組み内容	・国ガイドラインの周知 ・意見交換会の開催(２回) ・大治町地域連携方針を検討 ・チラシ「大治町部活動地域連携について」を保護者と教職員へ配布 ・教職員アンケートを実施 ・小学生ｽﾎﾟｰﾂﾁｬﾚﾝｼﾞを開催	・教職員へ連携方法を説明 ・実証事業に６部活動が参加 ・意見交換会の開催(３回予定) ・小５、６年生へ大治町部活動地域連携について説明 ・児童・生徒、保護者、教職員にアンケートを実施 ・地域団体へ説明 ・教職員の兼職兼業を検討 ・保護者の費用負担を検討	・実証事業の拡大 ・意見交換会の開催 ・Ｒ８の地域クラブ活動のあり方を検討 ・保護者負担の環境整備 ・児童・生徒、保護者、教職員、関係者に今後の地域連携について説明 ・指導者研修ガイドライン作成 ・指導者研修の環境整備	・土日の部活動を地域クラブ活動へ移行